

+++++  
◇日本学術会議主催学術フォーラム「乳児を科学的に観る：発達保育実践政策学  
の展開」の開催について（ご案内）

◇日本政府観光局「国際会議海外キーパーソン招請事業」招請候補者の募集に  
ついて（ご案内）  
+++++

■  
日本学術会議主催学術フォーラム「乳児を科学的に観る：発達保育実践政策学  
の展開」の開催について（ご案内）  
-----■

- ・日時：平成 28 年 11 月 6 日（日）13:00～17:30
- ・場所：日本学術会議講堂
- ・主催：日本学術会議
- ・共催：東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (Cedep)
- ・後援（申請中）：日本発達心理学会、教育関連学会連絡協議会、  
日本赤ちゃん学会、日本子ども学会（順不同）

・開催趣旨：

本企画は日本学術会議第 22 期マスタープランに教育学分野の「学術の展望」  
に基づき提出した大型重点研究計画「乳児発達保育実践政策学研究教育推進拠点  
の形成」に基づく提案である。「子どもの睡眠」と「養育者のワーク・ライフ・  
バランス」というテーマから、子どもの発達と保育・養育環境、更にはそれら  
を取り巻く社会・文化的状況について検討した上で、よりよい保育の在り方とそ  
の実現のための政策について議論を深めたい。

・次 第：

総合司会：

- 野澤 祥子（東京大学大学院教育学研究科附属  
発達保育実践政策学センター准教授）
- 関 智弘（東京大学大学院教育学研究科附属  
発達保育実践政策学センター特任助教）

13:00-13:10 企画趣旨説明

- 遠藤 利彦（日本学術会議連携会員・  
東京大学大学院教育学研究科教授）

13:10-14:45 第 1 部 眠りのメカニズムを探る－乳幼児発達の基礎として－

司 会：

- 渡辺 はま（東京大学大学院教育学研究科特任准教授）

話題提供：

「睡眠の科学」

- 櫻井 武（筑波大学医学医療系/国際統合睡眠医科学研究機構教授）

「ヒトの初期発達における睡眠」

- 多賀 巖太郎（東京大学大学院教育学研究科教授）

討 論：「眠る、食べる、動くをめぐって」

- 櫻井 武（前掲）

- 多賀 巖太郎（前掲）

- 保前 文高（首都大学東京大学院人文科学研究科准教授）

14:45-15:00 休憩

15:00-16:35 第 2 部 養育者のワーク・ライフ・バランス

司 会：

- 野澤 祥子（前掲）

話題提供：

「親のワーク・ライフ・バランスと健康」

島津 明人（東京大学大学院医学系研究科准教授）

「保育者の感情労働とワーク・ライフ・バランス  
－他者のワーク・ライフ・バランスを支える保育者たち」

高橋真由美（藤女子大学人間生活学部准教授）

「保育現場の労働環境と保育者の負担感」

高橋 翠（東京大学大学院教育学研究科附属

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5  
発達保育実践政策学センター特任助教）

指定討論：

遠藤 利彦（前掲）

16:35-16:45 休憩

16:45-17:20 第3部 全体討論

司 会：

淀川 裕美（東京大学大学院教育学研究科附属  
発達保育実践政策学センター特任講師）

パネリスト：

秋田喜代美（日本学術会議連携会員・  
東京大学大学院教育学研究科教授）

多賀巖太郎（前掲）

村上 祐介（東京大学大学院教育学研究科准教授）

17:20-17:30 閉会挨拶

大桃 敏行（日本学術会議連携会員・  
東京大学大学院教育学研究科教授）

・定 員：先着280名（参加費 無料）

・お申込み：下記サイトの申込フォームよりお申込みください。  
<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/>  
定員になり次第締め切らせていただきますので、御了承ください。

・アクセス：東京メトロ千代田線「乃木坂駅」下車、  
5番出口（青山霊園方面）より徒歩1分

・問合せ先：  
日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当  
〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34  
電話：03-3403-6295

■-----  
日本政府観光局「国際会議海外キーパーソン招請事業」招請候補者の募集に  
ついて（ご案内）

■  
日本政府観光局（JNTO）では、今年度も国際会議の日本への誘致促進を図るため、海外のキーパーソンを日本へ招請する「国際会議海外キーパーソン招請事業－MeetJapan」を実施いたします。

本事業は、国際会議開催地の決定権者であるキーパーソンを日本に招待し、国際会議誘致に積極的な都市のコンベンション施設を視察していただくと共に、具体的な開催条件等を関係者間で打合せていただく場を設けることで、日本での国際会議開催を促進することを目的としています。

ついては、国際会議の招致をご検討中の皆様から招請候補者を募集いたします。

ご応募をご検討いただける場合は、下記のJNTOのホームページにて実施概要をご確認の上、同URLから「お申込書」をダウンロードしてご記入いただき、平成28年12月1日（木）までにEメールにてお申込みください。

なお、招請の可否につきましては、お申込書受領後、JNTOにて検討の上、ご連絡させていただきます。

検討にあたり、追加での情報提供をお願いする場合がございますので、宜しくご理解とご協力をお願いいたします。

■実施概要：

[http://mice.jnto.go.jp/doc/meetjapan/2016/outline\\_jkp.pdf](http://mice.jnto.go.jp/doc/meetjapan/2016/outline_jkp.pdf)

■申込先：

[http://mice.jnto.go.jp/doc/meetjapan/2016/application\\_jkp.doc](http://mice.jnto.go.jp/doc/meetjapan/2016/application_jkp.doc)

上記 URL からお申込書をダウンロードしてご記入の上、以下のアドレスまでお送りください。

E-mail：

■申込期限：平成 28 年 12 月 1 日（木）

<お問い合わせ先>

日本政府観光局 (JNTO) コンベンション誘致部  
市場戦略グループ Meet Japan 担当 (佐々木、石橋、高橋)

TEL：03-3216-2905 FAX：03-3216-1978

E-mail：

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@XXX\_XXX です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

[http://twitter.com/scj\\_info](http://twitter.com/scj_info)

\*\*\*\*\*

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

\*\*\*\*\*

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できませんので、あらかじめご了承ください。本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34